



1946年、東宝交響楽団として創立。1951年に改称し現在に至る。サントリーホール、ミューザ川崎シンフォニーホール、東京オペラシティコンサートホールで主催公演を行い、文部大臣賞を含む日本の主要な音楽賞の殆どを受賞。新国立劇場のレギュラーオーケストラを務めるほか、川崎市や新潟市など行政と提携した演奏会やアウトリーチ、「こども定期演奏会」「0歳からのオーケストラ」等教育プログラム、ウィーン楽友協会をはじめとする海外公演も注目されている。さらに日本のオーケストラとして初の音楽・動画配信サブスクリプションサービスや、VRオーケストラ、電子チケットの導入などITへの取組みも音楽界をリードしており、2020年ニコニコ生放送でライブ配信した無観客演奏会は約20万人が視聴、2022年12月には史上最多45カメラによる《第九》公演を配信し注目を集めた。近年は、音楽監督ジョナサン・ノットとともに日本のオーケストラ界を牽引する存在として注目を集め、《サロメ（演奏会形式）》は音楽の友誌「コンサート・ベストテン2022」で日本のオーケストラとして最高位に選出された。桂冠指揮者に秋山和慶、ユベール・スダーン、正指揮者に原田慶太楼、名誉客演指揮者に大友直人を擁する。

## TICKET INFORMATION

チケット料金(税込)／全席指定

4回セット券	¥12,800 (友の会会員割引なし)
各1回券	¥4,000 (友の会会員料金 ¥3,600)
U25(小学生～25歳)	¥1,500 (友の会会員割引なし)

※一部ご購入いただけない席がございます。何卒ご了承ください。  
※販売状況によっては、舞台側方、または後方席を追加販売する可能性がございます。

【12月17日まで!】

4回セット券ミューザ限定販売期間

2023年  
12月11日(月) 友の会先行  
12月15日(金) 一般発売

※12月17日(日) 販売終了  
※限定販売期間中はミューザのみで受付

1回券&4回セット券発売

2024年  
2月5日(月) 友の会先行  
2月8日(木) Web先行  
2月15日(木) 一般発売

※売り切れの際はご容赦ください。

4回セット券の  
おすすめポイント

- 4公演を同じ席で楽しめる
- 1公演ずつ購入よりも断然オトク

1公演 “3,200円” で購入できます。

25歳以下の方  
ウエルカム

若い方にもご来場いただきやすいよう、  
お求めやすい金額の「U25チケット」を  
ご用意しています。  
お友達やご家族と、ぜひお越しください。

※U25はミューザとびあのみ販売となります(電話・窓口・Web)。  
公演当日、年齢を確認できるものを必ずご持参ください。  
※未就学のお子様のご入場はできません。  
本公演には託児サービス(要予約・有料)がございます。



イベント託児® マザーズ

TEL:0120-788-222

(平日10:00～12:00、13:00～17:00)

子育てファミリー  
を応援!

この公演は、「子育て応援対象事業」です。  
託児サービスが特別料金になります。

0歳児、1歳児 ..... 3,000円→ 1,500円  
2歳児から12歳まで ..... 2,000円→ 1,000円

チケットのお申込み ※ミューザ友の会会員の先行予約・割引販売は ㊤ 印にて受付。 ※ミューザ友の会先行発売初日は電話予約とWebのみ受付。

ミューザ川崎シンフォニーホール

㊤ 044-520-0200(10:00～18:00)

㊤ 4階チケットカウンター(10:00～19:00)

㊤ ミューザWebチケット <http://muza.pia.jp/> (24時間対応、火・水2:30～5:30を除く)  
※発売初日は10:00～受付



車椅子席・要予約

※数に限りがあるため  
事前にお問合せください。

Wheelchair Seats Available

The number of wheelchair seats is limited.  
Please make a reservation at your earliest convenience.



点字プログラム

※ご入用の方は各公演日の1ヶ月前  
までにご連絡ください。

【プレイガイド】※各プレイガイドでも1回券&4回セット券を発売します(イープラスを除く)。

◆チケットぴあ(24時間対応、火・水2:30～5:30を除く)※発売初日は10:00～受付  
<https://t.pia.jp/>

◆ミューザ川崎・イープラス  
<http://eplus.jp/kawasaki>(1回券のみ)

◆TOKYO SYMPHONY チケットセンター

044-520-1511(平日10:00～18:00、土日祝休)

◆神奈川芸術協会

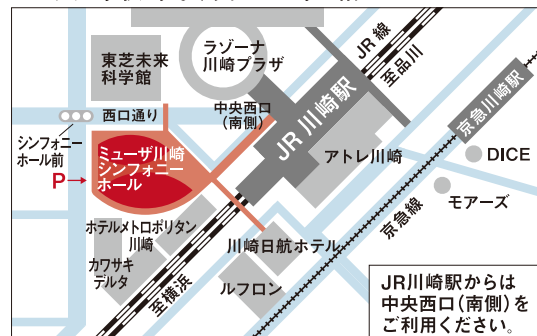
045-453-5080(平日10:00～18:00、土曜10:00～15:00、日祝休)

※公演詳細・館内設備・サービス等についての最新情報は、公式サイトでご確認ください。※出演者・曲目等の公演内容につきましては変更が生じる場合がございますので、ご了承ください。※公演中止の場合を除き、ご予約・ご購入いただきましたチケットのキャンセル・変更はお受けできません。※営利を目的としたチケットの転売は固くお断りいたします。※演奏中の入退場、写真撮影、録音等は固くお断りいたします。※館内での咳エチケットや適切な手指消毒を推奨いたします。※客席内でブラボー等の声援をされるお客様におきましては、マスク着用を推奨いたします。

**Ticket Information** All reserved seating / Ticket price is tax include  
・Season Tickets: 12,800 yen  
・Single Tickets General Public: 4,000 yen / MUZA Members: 3,600 yen  
U25: 1,500 yen (age 7 - 25)\*  
\*Please present your ID card to prove your age upon admission.

**Buy Tickets** MUZA Kawasaki Symphony Hall Ticket Center  
By Telephone: +81(0)44-520-0200 (10:00 a.m. - 6:00 p.m.)  
In Person: MUZA bldg. 4F (10:00 a.m. - 7:00 p.m.)  
Online "MUZA Web Ticket": <http://muza.pia.jp/>  
\*Available only in Japanese

JR川崎駅中央西口に直結



創発  
プログラム

終演後に、中高生向けワークショップを実施!

コンサートとワークショップを通して、  
ミューザで新たな発見をしてみませんか?

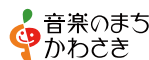
※ワークショップの詳細は、公式Webサイトよりご確認ください。



ミューザ川崎シンフォニーホール

<https://www.kawasaki-sym-hall.jp/>

〒212-8557 神奈川県川崎市幸区大宮町1310 TEL.044-520-0100(代) FAX.044-520-0103



音楽のまち  
かわさき

MUZA  
KAWASAKI  
SYMPHONY HALL

20  
YEARS  
MUZA KAWASAKI  
SYMPHONY HALL

# MOZART

## 2024-2025

### モーツァルト・マチネ

モーツァルトと過ごす、  
休日朝の、特別な一時間。

いち早く、  
好きな席を  
選べる!

【12月17日まで!】

4回セット券  
ミューザ限定販売期間

2023年  
12月11日(月) 友の会先行  
12月15日(金) 一般発売

※12月17日(日) 販売終了

1回券&4回セット券発売  
2024年  
2月5日(月) 友の会先行  
2月8日(木) Web先行  
2月15日(木) 一般発売

管弦楽：東京交響楽団

Orchestra: Tokyo Symphony Orchestra

©NIJEGAMI

会場：ミューザ川崎シンフォニーホール

チケット料金(税込) 4回セット券 ¥12,800 各1回券 ¥4,000 U25 ¥1,500(小学生～25歳)

主催・お問合せ：ミューザ川崎シンフォニーホール(川崎市文化財団グループ) TEL.044-520-0200(10:00～18:00)

Presented by MUZA Kawasaki Symphony Hall

25歳以下の方  
ウエルカム

各回11:00開演(10:30開場)

\*休憩なし/終演予定12:10頃

Start 11:00 a.m.  
(Doors open 10:30 a.m. / Duration: 70 min., no intermission)

公演の最新情報は公式サイトでご確認ください。



# モーツァルト・マチネ 2024-2025

～名作シンフォニー&新進気鋭のソリストとの共演～

第  
57  
回

2024年5月3日[金・祝]11:00開演

Fri. 3rd May 2024, 11:00 a.m.

オペラ・オブ・モーツァルト [オール・モーツァルト・プログラム] All Mozart Program

- モーツァルトの代表的なオペラのアリアを集めたプログラム。オペラ指揮者としても名高い沼尻竜典とバリトン界で活躍の場を広げる大西宇宙のタッグでお贈りします。モーツァルトが円熟期に差し掛かった頃に作曲した「リンツ」交響曲とともに、オペラの世界をご堪能ください。
- ◆歌劇『魔笛』から「おいらは鳥刺し」(パパゲーノ)  
"Die Zauberflöte", K. 620 - "Der Vogelfänger bin ich ja"(Papageno)
  - ◆歌劇『フィガロの結婚』から「もう訴訟に勝っただと?」(1789年ウィーン版)(アルマヴィーヴァ伯爵)  
"Le nozze di Figaro", K. 492 - "Hai già vinta la causa!" (Version Vienna 1789)(Conte Almaviva)
  - ◆歌劇『ドン・ジョヴァンニ』から「シャンパンの歌」、「さあ、窓辺においてよ」(ドン・ジョヴァンニ)  
"Don Giovanni", K. 527 - "Champagne Aria", "Deh, vieni alla finestra" (Don Giovanni)
  - ◆歌劇『コジ・ファン・トゥッテ』から「彼に向けてください、その眼差しを」(グリエルモ)  
"Così fan tutte", K. 588 - "Rivolgete a lui lo sguardo" (Guglielmo)
  - ◆交響曲第36番 ハ長調 K.425「リンツ」  
Symphony No. 36 in C major, K. 425, "Linz"



指揮: 沼尻竜典 バリトン: 大西宇宙  
Conductor: Ryusuke Numajiri Baritone: Takaoki Onishi

## Message from 沼尻竜典

大西宇宙さんには最近、ワーグナーの大作『ニルンベルクのマイスタージンガー』で、職人たちを仕切るコートナー役を歌っていただきました。貫禄十分、ユーモアや哀愁も見事に交え、ステージを大いに盛り上げてくれました。持ち前の声の良さ、表現力の多彩さは「オペラの基本」とも言えるモーツァルトのアリアでも、いかになく発揮されることでしょう。

モーツァルトの最高傑作の一つである「リンツ」は、私が桐朋学園の指揮科に在籍していた頃、当時の主任教授だった秋山和慶マエストロのレッスンを受けた思い出の曲。マエストロの薫陶を受けた東響と一緒に演奏できることが楽しみです。

第  
58  
回

2024年6月2日[日]11:00開演

Sun. 2nd June 2024, 11:00 a.m.

モーツァルト&スペインのモーツァルト

気鋭の指揮者・出口大地が東響初登場!モーツァルトの後期三大交響曲で美しく円熟した第39番と「スペインのモーツァルト」と呼ばれる早逝の作曲家を取り上げます。ソリストは、今注目を集めるヴァイオリニスト・前田妃奈。勢いのある両者によるモーツァルトをお聴き逃しなく!

- ◆アリアーガ:「幸福な奴隷」序曲  
Arriaga: "Los esclavos felices", Overture
- ◆モーツァルト: ヴァイオリン協奏曲第4番 ニ長調 K.218  
Mozart: Violin Concerto No. 4 in D major, K. 218
- ◆モーツァルト: 交響曲第39番 変ホ長調 K.543  
Mozart: Symphony No. 39 in E flat major, K. 543

## Message from 出口大地

何分、生まれながらのひねくれ者で、今回モーツァルト・マチネのお話をいただいたときに真っ先に頭に浮かんだ作曲家はモーツァルトではなくアリアーガ(1806-1826)でした。モーツァルトと同じ誕生日に生まれ、わずか20年に満たない短い生涯を終えたスペインの若者は、幼き頃よりその才能を発揮し“スペインのモーツァルト”と称されました。その証拠に今回取り上げる「幸福な奴隷」序曲は14歳、なんとまだ正規の音楽教育を受ける前の作品ですが、可憐で瑞々しい感性を味わっていただけることと思います。

そして、愛らしいヴァイオリン協奏曲に、私が最も愛するモーツァルトの交響曲である39番(語り出したら止まらないのでここでは割愛!)を、今回念願叶って初めて一緒に東京交響楽団の皆様と、ミューザのお客様にお届けできることを大変楽しみにしております。ソリストの前田妃奈さんは同じ大阪府豊中市生まれ、同郷の阿吽の呼吸をどうぞご期待ください。



指揮: 出口大地 ヴァイオリン: 前田妃奈  
Conductor: Daichi Deguchi Violin: Hina Maeda

聴きなじみのあるメロディと古典的でシンプルな構造。  
精緻で洗練された天才モーツァルトの作品は、どれも奏者の力量をはっきりと映し出す鏡のような存在です。  
定期的にモーツァルトに取り組んできた東京交響楽団だからこそできる、本格的なプログラム。  
2024年シリーズは、モーツァルトと彼にまつわる作曲家の音楽で、様々な「モーツァルト」の魅力をお届けします。  
モーツァルトの名作や新しい作品との出会いをどうぞお楽しみください!

第  
59  
回

2024年11月16日[土]11:00開演

Sat. 16th November 2024, 11:00 a.m.

モーツァルト&ハイドン

今回、東響音楽監督ノットがチョイスしたのは、モーツァルトと大いに影響し合ったハイドン。朗々とした旋律が際立つチェロ協奏曲第1番を、東響ソロ首席奏者・伊藤文嗣がお贈りします。  
続いて、モーツァルト初期の人気の高いピアノ協奏曲「ジュノム」を、躍進中のピアニスト・務川慧悟のソロで。名手の演奏にご期待ください。



指揮: ジョナサン・ノット (東京交響楽団 音楽監督)  
Conductor: Jonathan Nott (Tokyo Symphony Orchestra Music Director)  
チェロ: 伊藤文嗣 (東京交響楽団 ソロ首席奏者)  
Cello: Fumitsugu Ito (Tokyo Symphony Orchestra Solo Principal)  
ピアノ: 務川慧悟  
Piano: Keigo Mukawa

- ◆ハイドン: チェロ協奏曲第1番 ハ長調  
Haydn: Cello Concerto No. 1 in C major, Hob.VIIb:1
- ◆モーツァルト: ピアノ協奏曲第9番 変ホ長調 K.271「ジュノム」  
Mozart: Piano Concerto No. 9 in E flat major, K. 271, "Jeunehomme"

## Message from ジョナサン・ノット

モーツァルトを演奏あるいは聴く場合に、ハイドンとの比較は、常に興味深く、切り離すことのできないものと言えます。ハイドンとモーツァルトの年齢差は24歳。ウィットに富みながらも、その生活も作曲も非常に几帳面で厳格であったハイドンは、交響曲の父ともうたわれています。一方でモーツァルトは、快活と陰鬱、怒りと優しさの間を、大きな揺れ幅で時には狂気を持って往来し、その性格はハイドンとは全く異なるものです。ハイドンが努力家で遅咲きであったのに対して、モーツァルトは早熟で生まれ持った天才でした。この2人がどうして惹かれあって交流したのか(多くはなかったようですが)、どんな影響を与え合っていたのか、興味は尽きません。モーツァルトが亡くなってからも、ハイドンが多くの重要な作品を残している点も特筆すべきところです。

この演奏会では、協奏曲と言う形態で、2人の偉大な作曲家を楽しみながら聴いて頂きたいと考えています。チェロに私が信頼を寄せる東京交響楽団ソロ・チェロ奏者の伊藤文嗣さん、ピアノは今回初共演となる務川慧悟さん、若くて才能溢れるソリストです。是非お楽しみください。

第  
60  
回

2025年3月2日[日]11:00開演

Sun. 2nd March 2025, 11:00 a.m.

モーツァルト&ザ・ボヘミアンズ

世界で活躍するヴァイオリニスト・佐藤俊介がモーツァルト・マチネにふたたび登場! 前回2020年、東響との息の合ったアンサンブルが大好評。今回は「チェコ」をテーマに、モーツァルトとも実際に交流のあった同世代チェコ出身作曲家と、人気の高い「ブラハ」交響曲をお届けします。弾き振りならではの躍動感をお楽しみに。

- ◆ヨハン・バプティスト・ヴァンハル: 交響曲 ニ短調(Bryan d1)  
Váňhal: Symphony in D minor, Bryan d1
- ◆ヨゼフ・ミスリヴェチェック: ヴァイオリン協奏曲 ホ長調  
Mysliveček: Violin Concerto in E major
- ◆モーツァルト: 交響曲第38番 ニ長調 K.504「プラハ」  
Mozart: Symphony No. 38 in D major, K. 504, "Prague"

## Message from 佐藤俊介

モーツァルトは、ボヘミア人のヴァンハルの交響曲を評価し、お手本にしたのみならず、ウィーンで主催されたあるカルテットの夕べで、ヴァンハルと弦楽四重奏を演奏するほど、直接交際があった二人です。尚二人は、三年ほど向かい合わせのアパートに住み、隣人同士でもありました。

同じくボヘミア出身のミスリヴェチェックは、モーツァルトと大変親しく、モーツァルトが彼のモチーフから曲の形式、独創的なリズム語法まで模範にしていたと言われています。1777年、重病のミスリヴェチェックが入院し、お見舞いに行ったモーツァルトが彼の哀れな姿を見て涙が出たと、感動的なエピソードも手紙に残されています。

そしてボヘミアの首都プラハの人々は、夢中になるほどモーツァルトを愛し、「ドン・ジョヴァンニ」や「皇帝ティートの慈悲」の初演の他、交響曲第38番「プラハ」も演奏された街です。今回、皆さまにもプラハ市民になりきって熱狂して頂ければと思います!



指揮&ヴァイオリン: 佐藤俊介  
Conduct & Violin: Shunsuke Sato